

「シドニー便り 2. 0」(第17回)

～ 叙勲 ～

11月4日

11月3日、日本政府は、2023年(令和5年)の秋の叙勲の受章者を発表しました。

ニューサウスウェールズ(NSW)州からは、ジョナサン・オデイ前ニューサウスウェールズ州下院議長が、日本と NSW 州との友好関係の発展と相互理解の促進に大きく寄与したとして、旭日小綬章を受賞されました。

オデイ氏は、NSW州の下院において、アジア太平洋諸国との友好議員連盟の会長も務め、日本を含めたアジア太平洋地域との友好と交流の促進に寄与されてこられました。天皇誕生日レセプションをはじめ日本総領事公邸における様々な行事にも御参加いただいています。また、日本の民間企業が主宰する日豪教育交流の卒業生の一人であり、日豪間の教育交流・若者交流にも貢献をされています。

この度の同氏の叙勲に心より祝意を表したいと思います。



叙勲は、毎年、春と秋の2度行われます。

本年2023年（令和5年）の春の叙勲では、NSW州からは、ビル・ウエスト・カウラ市長（当時。市長職は9月に退任）及びトーマス・バサースト元NSW州最高裁判所長官が叙勲を受賞されました。

ビル・ウエスト前カウラ市長は、日本とオーストラリアの交流と相互理解の促進に多大なる寄与をされたとして、旭日小綬章を受賞されました。ウエスト氏は、1999年（平成11年）からカウラ市議として、また2008年（平成20年）以降はカウラ市長として、カウラ市の日本人戦争墓地において毎年8月に開催されるカウラ捕虜収容所日本人捕虜集団脱走事件（いわゆる「カウラ・ブレイクアウト」）慰霊式典の毎年の開催・運営を支援し、慰霊式典の永続的な開催を支援してこられました。また日本人戦争墓地に隣接する日本庭園における紅葉祭りや桜祭りなどの数々の行事への支援を行い、そして同市の美しい桜並木事業の維持継続に貢献されました。カウラ庭園の理事長でもあり、施設の維持・整備に取り組み、日本文化の紹介に貢献されました。新潟県上越市や福岡県との間の交流の深化に尽力され、日豪間の草の根レベルの友好関係の構築に貢献されました。

来年2024年（令和6年）は「カウラ・ブレイクアウト」80周年にあたります。日豪関係の「精神的故郷」と呼ばれるカウラ市と日本との交流に尽力されたウエスト前市長の功績を称えたいと思います。

叙勲伝達式の当日は、ウエスト氏のご家族やカウラ市の同僚、そして日豪友好に携わる多くの方々の前で勲記と勲章を授与することができ、光栄でした。



トーマス・フレデリック・バサースト元NSW州最高裁判所長官・元ローエイシア司法部会長は、司法分野における日本・オーストラリア間の関係強化及び相互理解の促進に寄与されたとして、旭日重光章を受章されました。バサースト氏は、2011年(平成23年)以降、NSW州最高裁判所長官として、日本の最高裁判事を含む日本の裁判所からの訪問者に対する支援をされ、また、日本の裁判官の在外研究や日本の最高裁による調査の充実に協力されました。さらに、ローエイシア司法部会長としてアジア太平洋最高裁長官会議を共催し、特に2017年(平成29年)に東京で開催された第17回の同会議の成功に貢献されました。

叙勲伝達式の当日は、叙勲をお祝いする戸倉三郎最高裁判所長官の英語のビデオメッセージが日本から寄せられ、参加者で拝見しました。私からは、バサースト元長官のご家族や司法界の御友人の前で勲記と勲章を授与することができ、光栄でした。日本の最高裁判所から研修のためにシドニーに派遣されている佐々木康平(ささきこうへい)判事補の参加も得て、司法分野の協力の会話に花が咲きました。



日本とオーストラリアの友好関係の増進に貢献された方々が叙勲の栄誉を授かることは、日豪両国の関係を象徴するものとして、とても大切なことだと思います。総領事館としても、できるだけ支援と関与をしてまいりたいと思います。

(以上)